

2018

3年 ティーボール



松戸市立八ヶ崎小学校

## ティーボールは・・・

2つのチームが攻撃と守備を交替し、ボールを打ったり、捕ったりして得点を競い合う運動である。

## 児童から見ると・・・

- ・ボールを打って得点につながったり、ボールを捕ってアウトにしたり、チームが勝ったりすると、楽しさを味わえる。
- ・ティーにボールを置き、止まっている状態のボールを打つことができるので、打つことに抵抗が無く運動できる。



親しみ  
やすい

しかし…

- ・上手にボールを打てなかったり、うまく捕球できなかったりする。



苦手意識に  
繋がってしまう

学習カード

教材

学習課程

課題設定

本校では・・・

☆フルスイングでボールを遠くに飛ばし、走塁の仕方を工夫することができるようにする。

## 《規則》

☆始めから提示する規則⇒**シンプルなものにする。**

- 1チーム5～6人で、守備は3人とする。
- 攻守交代は3分とし、攻撃側は決められた順に打っていく。
- 安全のため、バットはバットゾーンに置いてから走る。
- 内野ゾーンに2人、外野ゾーンに1人で守備をする。攻撃側が打ったら動くことができる。
- 1打席で最大3回バットを振ることができ、ファールゾーンに打ったときはストライクとしてカウントする。
- 守備時には、打球を捕った人の所へ残りの2人が集まり、ボールを中心にして手を繋いでしゃがんだら「アウト」と言い、同じチームの担当が太鼓を叩く。攻撃は、打ったら進めそうな塁まで走り、「セーフ」と言い、同じチームの担当が電子ホイッスルを鳴らす。守備の太鼓の音よりも先に、攻撃の電子ホイッスルが鳴ったら、進めた塁の分だけ得点が入る。

★追加の可能性のある規則

⇒**児童の困り感・必要感に応じて、教師が提案・追加する。**

児童の困り感	追加のルール	個人やチームのメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 守備が目の前にいてすぐに捕られるので、思いきって打てない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 内野ゾーンに入って守ることはできない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• すぐアウトになる心配がないので、思いきって打つことができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• もっとたくさん得点したい。</li> <li>• バットが飛んできて危ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• チーム全員がバットゾーンにバットを入れることができたなら、ボーナス5点とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ボーナス5点をもらうために、安全面の確保ができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遠くに打たれるとたくさん点がとられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 内野ゾーン、外野ゾーンにそれぞれ守備がいればよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 立ち位置を自由に考えることができ、守備がしやすくなる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 打っても遠くに飛ばないので、1点しかとれない。</li> <li>• もっと、得点をとりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バットを振る回数を1回減らす代わりに、ランナーを一人置くことができる。(ランナーはホームに還ってきて得点となる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• いつも1点しかとれない児童が、複数得点をとることができる。</li> </ul>

※**単元前半で規則を工夫し、単元後半で「ランナーを置き、何点取れるか考える」学習ができるようにする。**

## 《教具》

### ・ボール



#### MIKASA ソフトドッジ

- ・飛びやすく、弾みやすいボールにする。
- ・打った時に手首に負担がかからないようにする。

### ・バット



#### ・ケンコーティーボールS

#### ・ケンコーティーボールM

長さや重さの違いがあるので、授業中に使い分けられるようにする。

### ・カゴの中身

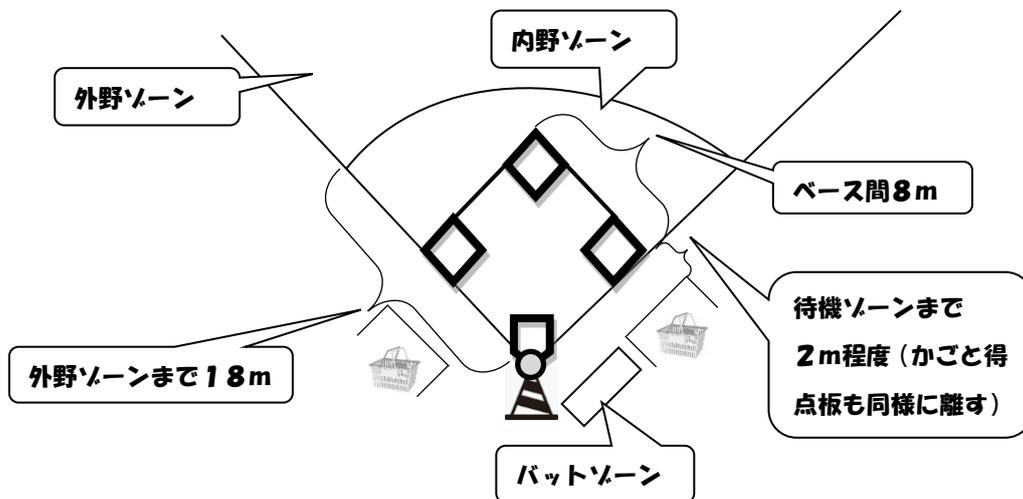


(大)：学習板の近くに置いておく。

- ・個人の学習カード
- ・筆記用具
- ・水筒
- ・タオル

(小)：コートの上に持って行く。

- ・守備ボード(黒テープでコートを作ったホワイトボード)
- ・マグネット
- ・マーカーペン
- ・チームファイル  
(規則、作戦カード、攻撃・守備の順番表など)



教具の作り方や材料の値段などについては、本校までお問い合わせください。

# 指導計画 ゲーム「ティーボール」(9時間)

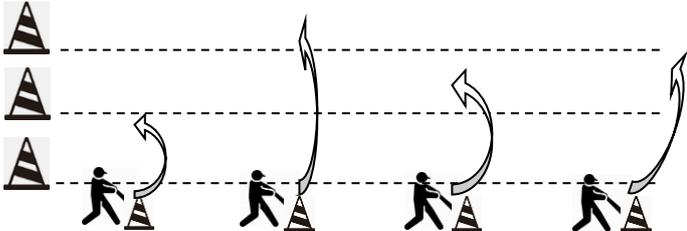
時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	知識の獲得・技能向上						知識・技能を活用し、ランナーを置いてゲームを楽しむ			
0 6 9	オリエンテーション ・単元を通した学習のねらい ・ゲームの行い方の説明 ・学習のルール ・用具の扱いについて ・試しのゲーム ・課題をつかむ (チームの課題)	・あいさつ ・用具の準備 ・ウォーミングアップ ・健康観察 ・課題確認 ・守備確認(ゲームで守る守備を選ぶ。)※5時間目以降								
16		<b>ゲーム1 第1次リーグ戦</b>				<b>ゲーム1 第2次リーグ戦</b>				
32		<課題解決学習> 教師が動き方のポイントを押さえて指導する。 <予想される課題> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ボールの打ち方</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">守備の仕方・配置</div> </div> <予想される練習> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ティーバッティング ホームラン競争</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ティーバッティング スローランニング</div> </div>				<課題解決学習> 教師が示した練習方法の中から解決方法を児童が選択又は考案できるようにする。 <予想される課題> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">もっと得点をとるために、打者と走者の組み合わせを見付ける</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">打球に応じた、走塁の判断</div> </div> <予想される練習> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;">ベースランニングリレー スローランニング</div>				
38		<b>ゲーム2 第1次リーグ戦</b>				<b>ゲーム2 第2次リーグ戦</b>				
45	・反省(学習カードの記述は3分間)※はじめ、なか、おわりは5分間 ・まとめ ・片付け ・クールダウン ・あいさつ									

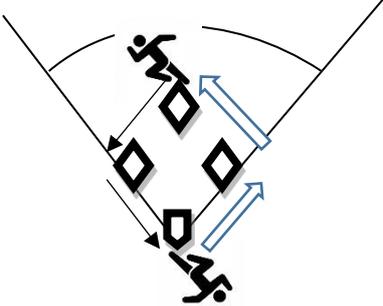
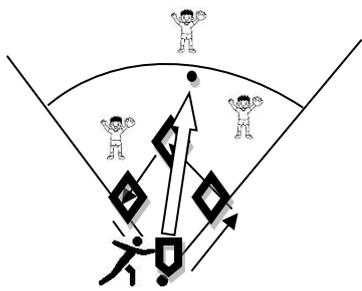
## 体育の学力（評価規準）

		体 育 の 学 力
技能	On the ball skill	①ボールにバットを当てることができる。
		②フェアグラウンド内にボールを打つことができる。
	Off the ball movement	③打たれた打球の正面に入ることができる。
		④全力で走塁することができる。
態度	①ゲームに進んで取り組もうとしている。 ②規則を守り，友達と励まし合って練習やゲームをしたり，ゲームの勝敗を受け入れたりしようとしている。 ③用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ④周囲を見て場や用具の安全を確かめようとしている。	
知識， 思考・判断	①ベースボール型における，得点の方法を知り，規則を工夫したり，打者や走者の能力に応じた攻め方を考えたりしている。 ②相手に応じた守備の仕方を選んでいる。 ③ボールの軌道によって，走塁を工夫している。	

## 課題解決のために必要と予想される練習方法

 別付 DVD に映像有

①	 <b>ティー バッティング</b>	ティーに置かれたボールをバットで打つ。フェアグラウンド内にボールを打つ技能を身に付けることを目的とする。
②	 <b>ホームラン 競争</b>	距離別に置かれたコーンを目印にして，他のチームと飛んだ距離を競う。遠くに打つ技能を身に付けることを目的とする。  

<p>③</p>	<p>  <b>ベース ランニング リレー</b></p>	<p>ホームか2塁にチームごとで分かれる。一人が打者役となり、バットを振る。バットを振ったと同時にスタートし、順番にランナーとしてベースを1周する。先に1周回ったチームの勝ち。素早くベースを回る技能を身に付けることを目的とする。</p> 
<p>④</p>	<p>  <b>スロー ランニング</b></p>	<p>打者はボールを打つ代わりに投げてベースを回る。守備は飛んできたボールを捕球して集まる。守備は「誰が捕るのかを判断し、素早く集まる」技能を身に付けることを目的とする。打者は「投げたボールの軌道や守備の状況を見て走塁する」技能を身に付けることを目的とする。</p> 

# 展開 1 (1時間目 オリエンテーション)

- 単元を通したねらいを伝え、学習のめあてをもつことができるようにする。
- 用具の扱い方や場のづくり方について指導する。
- ティーボールにおける規則や授業での約束について指導する。  
例：バットは必ずバットゾーンに入れ、周りを見てから振る。  
使っていないボールは、かごの中に入れる。 など
- 試しのゲームを通して、スーパープレーヤーになるためにはどうしたらよいかイメージできるようにする。
- 「これならできそうだ!」「自分たちもやってみたい!」という意欲をもつことができるようにする。

時配	過程	・学習内容と活動	○指導と支援
20	あいさつ  健康観察 オリエンテーション  課題確認    試しのゲームについての説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大きな声で元気のよい挨拶で学習が始められるようにする。</li> <li>○集合場所、並び方、服装、持ち物の置き場所について確認する。 (ビブスはズボンにしまう。赤白帽子は後ろ向きにする。ミサンガやピンを外す。)</li> <li>○健康観察を行う。</li> <li>○ティーボールの学習のねらいや進め方について伝える。</li> <li>• 単元を通して、自分がどのような姿になりたいのかを考え、発表する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ためしのゲームをして、スーパープレーヤーになるためのポイントを見つけよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本時の課題を知り、ゲームを通して、個人の課題に加えて、チームとしてどのような課題があるのかを見付ける。</li> <li>○課題は、声や協力などの態度面ではなく、バッティングやキャッチなどのボール操作や、走塁の仕方や守備の仕方などのボールを持たない時の動きなど、技能面に関することを見付けるように伝える。</li> <li>○3コート同時に、各コートで兄弟チームと行うことを伝える。</li> <li>○ルールについて、以下の内容を確認する(初めは簡単に)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1試合6分(3分で攻守交代)。</li> <li>• 守備は3人</li> <li>• 守備は、攻撃側が打ったら動くことができる。</li> <li>• 守備は、打球を捕った人の所へ残りの2人が集まり、ボールを中心に手を繋いでしゃがんだら「アウト」と言い、同じチームの担当が太鼓を叩く。攻撃は、打ったら進めそうな塁まで走り、「セーフ」と言い、</li> </ul>

	<p>学習の場、用具の準備をする。</p> <p>ウォーミングアップ</p> <p>健康観察 チームでの確認</p> <p>試しのゲーム①</p> <p>全体での確認</p> <p>試しのゲーム②</p> <p>10 片付け 反省 まとめ</p> <p>クールダウン</p> <p>あいさつ</p>	<p>同じチームの担当が電子ホイッスルを鳴らす。守備の「太鼓」の音よりも先に、攻撃の「電子ホイッスル」が鳴ったら、進めた塁の分だけ得点が入る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バットは、必ずバットゾーンに入れる。</li> <li>・1打席で最大3回バットを振ることができる。</li> <li>・ファールゾーンに打ったときはストライクとしてカウントする。</li> </ul> <p>○事前に準備をしていた実際の場を使いながら確認する。</p> <p>○場の準備の仕方や、かご・得点板の置く場所等について確認する。 (バットゾーンの箱は2人で、他のものは1人で運ぶ。ティーやベースの置き方を確認する。カゴや得点板は、待機場所内に置く。)</p> <p>○チームで分担し、協力して素早く準備するよう伝える。</p> <p>○必要な部位をほぐすとともに心肺機能高められるよう、担任が主導で準備運動とボール慣れの運動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人組になってキャッチボールをする。1時間目では自由な方法・距離でパスを行う。</li> </ul> <p>○足を動かしながら練習を行うように伝える。</p> <p>○健康観察をする。(必要に応じて水分補給をする時間を設ける。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻撃時の打順、守備時の試合に出るメンバーを確認する。</li> <li>・ホームベース前に全員整列して並ぶ。</li> </ul> <p>・笛の合図で挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コート内で円陣を組んで気合いを入れる。</li> <li>・ゲーム終了の笛でホームベース前に整列して並ぶ。</li> <li>・笛の合図で挨拶をする。</li> </ul> <p>○必要に応じて水分補給をする時間を設ける。</p> <p>○試しのゲーム①を終えて、ルール等で困ったことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試しのゲーム①と同様に行う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで分担し、協力して素早く片付けをするよう伝える。</li> </ul> <p>○円になって話し合う、友達の意見をしっかり聞いてから書くなど、チームでの反省の仕方や学習カードの書き方について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームごとに集まり話し合いながら、チームや個人の課題について学習カードに記述する。</li> </ul> <p>○児童が発言を行う際、他の児童の意見を受けて発言できるように配慮する。</p> <p>○教師主導で整理運動を行い、使った部位をほぐすことができるようにする。</p> <p>○毎時間、元気よく挨拶をして終わることができるよう伝える。</p>
--	---	---

## 展開2 (2~6時間目)

時配	過程	・学習内容と活動	○指導と支援
7	あいさつ 準備 ウォーミングアップ  健康観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装を整えて整列をして、元気よくあいさつをする。</li> <li>・チームで分担して、素早く場や用具の準備をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○必要な部位をほぐすとともに心肺機能を高めることができるよう、教師主導で準備運動とボール慣れの運動</li> <li>・2人組でのキャッチボール</li> <li>・ぶんぶん体操</li> <li>○キャッチボールでは、試合で飛んでくることが予想されるボールを投げるよう伝える。(距離や投げる強さ、高い・低い等) ぶんぶん体操では、腰をひねり、体を大きく使ってタオルを振れるようにする。</li> <li>○健康観察をする。必要に応じて水分補給をする時間を設ける。</li> </ul>
30	課題確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードに記述した前時の課題とそれに対する教師のコメントを読み、本時の課題に対して見通しをもってから活動に入るようにする。</li> <li>○本時の課題を確認する(本時の課題は、前時までの児童の困り感やゲームの様相を基に設定する)。</li> </ul>	<p>&lt; 2時間目 &gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">ボールを遠くにとばすためのポイントをみつけよう！</div> <p>&lt; 3時間目 &gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">フルスイングでボールを遠くにとばそう！</div> <p>&lt; 4時間目 &gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">立ち位置を考えてフルスイングをしよう！</div> <p>&lt; 5時間目 &gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">守びの仕方を考えてアウトをたくさんとろう！</div> <p>&lt; 6時間目 &gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">高得点をとられない守びをしよう！</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○前時のゲームの様相を基にした知識テスト(3択問題)を提示する。</li> <li>○追加する規則がある場合は、確認をする(児童の学習カードの記述やゲームの様相等を基に教師が提案・設定)。</li> <li>・内野ゾーンに入って守ることはできない。</li> <li>・チーム全員がバットゾーンにバットを入れることができれば、ボーナス5点とする。</li> <li>・内野ゾーン、外野ゾーンにそれぞれ守備がいればよい。</li> </ul>

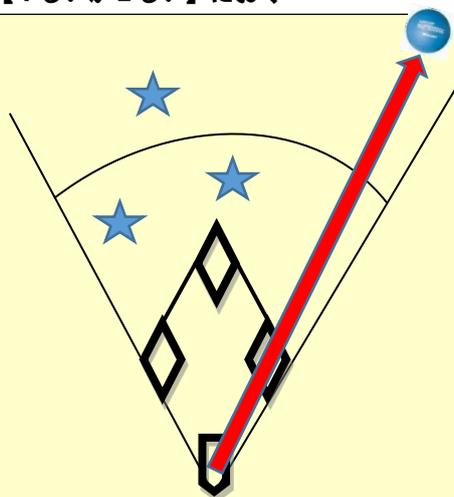
8	ゲーム①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バットを振る回数を1回減らす代わりに、ランナーを一人置くことができる。（ランナーはホームに還ってきて得点となる）</li> </ul>
	課題解決学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良いプレーがあったときには、全員に聞こえるように大きな声で褒めて、何が良かったのかを具体的に知らせることで、全体に共有する。</li> <li>○素早く行動してたくさん動けるよう声をかけて回る。</li> <li>○必要に応じて水分補給の時間を設ける。</li> <li>・本時の課題に対してどうだったかを、チームや全体で話し合う。</li> <li>○話し合いが停滞しているチームに対しては、課題を確認させるために教師が主導でうまくいったことと、うまくいかなかったことを確認し合うよう伝える。</li> <li>○チームの困り感に応じて教師が練習方法を紹介する。 （「ティーバッティング」「ホームラン競争」「ベースランニング」「スローランニング」）</li> <li>・練習方法によっては、チーム練習かペアチーム練習かを選択して行う。</li> </ul>
	ゲーム②	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲームを楽しむと同時に、勝敗だけにこだわらず、練習したことをゲームで活かすことができたかを考えながらプレーするように伝える。</li> </ul>
	片付け 反省 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで分担し、協力して素早く片付けをする。</li> <li>・チームごとに集まり話し合いながら、チームや個人の課題について学習カードに記述する。</li> <li>○児童が発言を行う際、他の児童の意見を受けて発言できるように配慮する。</li> </ul>
	クールダウン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師主導で整理運動を行い、使った部位をほぐすことができるようにする。</li> </ul>
	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○元気よく挨拶をする。</li> </ul>



導する。

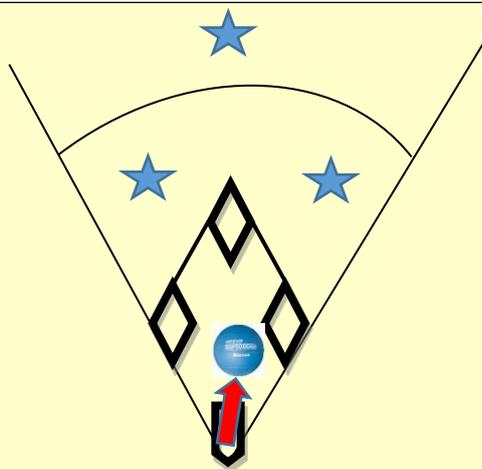
【ランナーの置き方の例】

バッター  
【3塁かホーム】を目指して走る  
ランナー  
【1塁か2塁】におく



遠くに飛ばすこと  
のできるバッター

バッター  
【1塁か2塁】を目指して走る  
ランナー  
【3塁か2塁】におく



遠くに飛ばすこと  
が苦手なバッター

ゲーム②

○ゲームを楽しむと同時に、勝敗だけにこだわらず、練習したことをゲームで活かすことができたかを考えながらプレーするように伝える。

8 片付け  
反省  
まとめ

- ・チームで分担し、協力して素早く片付けをする。
- ・チームごとに集まり話し合いながら、チームや個人の課題について学習カードに記述する。

○児童が発言を行う際、他の児童の意見を受けて発言できるように配慮

	<p>クールダウン</p> <p>あいさつ</p>	<p>する。</p> <p>○9時間目の授業では、ティーボールの学習を通してできるようになったことやこれからの学習に生かしていきたいことなどを全体で発表し合う時間を設ける。</p> <p>○教師主導で整理運動を行い、使った部位をほぐすことができるようにする。</p> <p>○元気よく挨拶をする。</p>
--	---------------------------	--

**※学習カードは、ホームページに載っています。**